

提 案 の 概 要

施設名： 徳川園

団体名： 徳川の杜グループ

構成団体：公益財団法人名古屋市みどりの協会
株式会社ゼットン、岩間造園株式会社

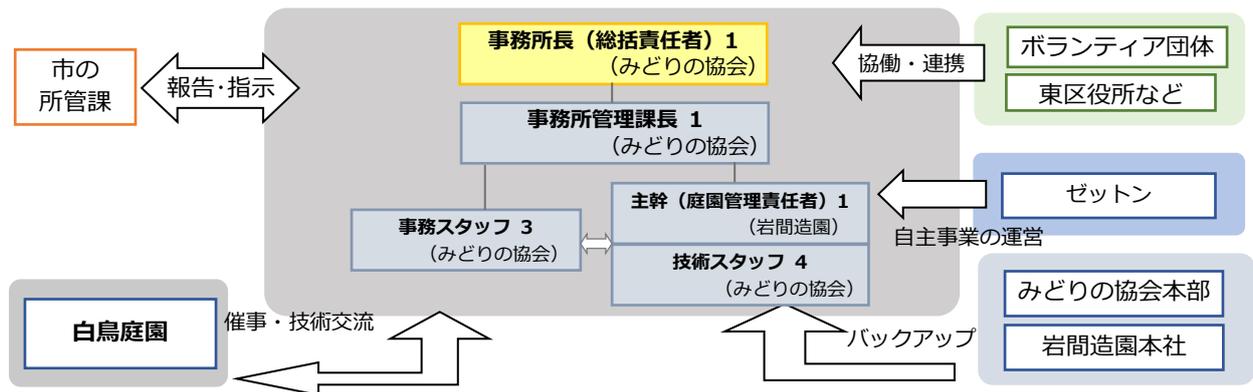
(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する抱負と目標

- 歴史的資産と豊かな自然環境を活かし「尾張の名園」を目指すことを抱負とし、以下のように管理運営の目標を定めます。
目標 1) 伝統的な庭園の美、都会のオアシスとしての価値を高め、魅力をさらに向上させます。
目標 2) これまで育ててきた周辺施設や地域との“つながりの輪”を発展させます。
目標 3) 歴史的資産と豊かな自然環境を保全し、後世に伝え残していきます。

②管理運営体制

- 責任体制・役割分担について
施設の魅力・課題を把握する三者のコンソーシアムにより、これまで培ってきたノウハウ、ネットワークを活かし、多彩な協力団体と連携して管理運営を進めます。



- 人材育成について
 - ・管理運営について深く理解し、施設とともに成長できる人材を計画的に育成します。
 - ・庭園管理のOJTにより専門的な技術の伝承に努めます。
 - ・管理運営だけでなく広報や魅力増進に資する幅広い研修を実施します。
- 市民、地域、行政、各種団体等との協働について
 - ・名古屋市、愛知県といった行政機関、山車揃えに関わる各団体、近隣飲食店と商店街、学校施設などとの連携を強化して、地域全体を盛り上げる取組みを行います。
 - ・庭園を案内するガイドボランティアの更なる充実に向け、研修会や自主研修への支援によるスキルアップ、イベントの共同開催により活動の活性化、継続的な新規募集を実施します。
 - ・徳川美術館、蓬左文庫など周辺施設とは定期的に情報交換会議を開催し、広報部門での連携や催事の共同開催を行い、文化的観光拠点としての価値を高めます。
 - ・文化のみち施設や名古屋城との連携企画によりエリア全体の魅力を向上させて、相互の回遊性を高めます。

●施設管理について

- ・水中ポンプの増設や、頻度と質を高めた水底清掃で、龍仙湖を中心とする「海」エリアの高いレベルの維持管理を行い、「水で魅せる日本庭園」を演出します。
- ・「虎の尾」内の掃き掃除や「せせらぎの音」にこだわった演出で溪流の美観維持と癒しの提供を行います。
- ・夜間開園時には照明の効果的な配置により、庭園美の演出と安全面の向上を図ります。

●修繕について

- ・必要性と優先度を常に見直しながら、技術力の高いスタッフによる直営率の向上などで、スピード感を持って計画的に取り組みます。

●緊急時の対応について

- ・災害発生時や発生が予測される場合は「徳川園危機管理マニュアル」に基づき職員が出動し徳川園の外周を含めて巡視や応急処置を実施し、市の所管部署に連絡して協力体制を早期に構築します。
- ・災害発生時に迅速に広域避難場所としての対応を行うため、徳川園全体で取り組む合同訓練（避難訓練、放水訓練等）を実施します。

●環境対策について

- ・近隣小学校の食品コンポストを活用し、園内の落葉を利用し自家製腐葉土をつくり、植物管理へ活かします。
- ・鳥類の生息場所の創出や昆虫が好む植物の植栽、外来の植生物の除去など都会のオアシスとしての環境保全に取り組みます。

●植物管理について

- ・江戸系品種に拘った花菖蒲園の充実や東側外周路へのヤマアジサイ、ウツギの植栽など新たな花の見どころ創出に加え、ボタン、モミジ、マツ、など「徳川園の名物」にスポットをあてた維持管理を行います。
- ・邦産花卉の植栽をはじめとした庭園の伝統文化を尊重した管理を行います。
- ・アーボリストなどと連携し、安全性を重視した高木の管理保全に努めます。

（２）実施業務の計画について

①指定管理施設の管理運営方針

●利用者サービスの向上・既存施設の活用について

- ・毎日の園内巡視や清掃により、お客様の安全性と快適性を高め地域貢献にも寄与します。
- ・散策モデルルートの提案、園内看板の充実、インバウンド向けの多言語 QR コード、ピクトグラム、翻訳機により日本庭園の楽しみ方を広く伝えます。
- ・芝生広場の改良、夜間照明の充実、瑞龍亭等の既存施設を活用して催事内容を拡大します。

●植物管理に関する取組み提案 ～ 庭園の主役となる花木、樹木を適切に管理します！

- ・古来の美を伝える「花菖蒲」園を充実させ、江戸系品種に拘り他園との差別化を図ります。
- ・徳川園を代表する「牡丹」の現品種数約 60 品種を 80 品種以上に充実させます。
- ・庭園全体の景観を司る樹木の管理については個々の樹々に管理台帳を作成します。

- 景観形成に関する取組み提案 ～ いつ来ても感動し楽しめる空間を演出します！
 - ・「徳川園十景」に基づく景観管理と庭園景観アドバイザーの助言内容を実現します。
 - ・「大曾根の瀧」滝つぼの行き止まりを解消して回遊性を向上させます。
 - ・「名古屋の二大庭園」としての白鳥庭園との技術・情報連携をより一層深めます。

- イベント・展示会・講習会などについて

- ・季節の風物詩として歴史文化拠点にふさわしい年間の催事を計画します。



- ・開園 20 周年記念イベントをはじめとした新たな催事で賑わいと話題性を創出します。
- ・「武家装束展」や「盆(才)展」などの展示会や庭園研究家による庭園講座、葉拓教室や短冊飾りの利用プログラムなど、日本の歴史や伝統文化を体感できるコンテンツを提供します。

- 広報PRについて

- ・魅力的なビューポイントなど「SNS発信ポイント」の創出により、来園されたお客様からの情報発信を促す仕組みをつくります。
- ・コンソーシアム各社の持つ幅広い広報媒体、ホームページなどで情報発信を行います。
- ・他の市内公園や観光施設と連携したラリー企画などにより多方面からお客様を誘致します。

②自主事業について

- ・庭園内での飲食提供サービスを始めます。
- ・ガーデンホールで食事とワインを愉しむ「徳川園・ワインの夕べ」（仮称）を開催します。
- ・園内を貸切とした庭園鑑賞会と飲食を愉しむ企画を実施します。
- ・浴衣、和傘、着物、武家装束のレンタルサービスを実施します。
- ・催事に合わせて高所作業車を展望台として観覧する「天空庭園」（仮称）を実施します。
- ・落語会、音楽コンサートの質を上げて有料で実施します。
- ・駐車場の営業時間を延長します。
- ・駐車場の料金体系を実質値上げすることなく利用しやすい 100 円単位に改定します。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等について

- 年度ごとの指定管理料提示額は1～5年目は120,000千円、6～10年目は123,000千円。
収益事業還元金は期間を通じて年間12,000千円。期間合計の収支計画は以下の通り。

【収入】		単位:千円
区 分	合計	
指定管理料提示額	1,215,000	
収益事業還元金	120,000	
収入合計	1,335,000	

【支出】		単位:千円
区分	内 訳	合計
人件費	人件費及び福利厚生費	459,500
光熱水費	電気、ガス、水道料金	150,000
管理費	清掃費、建物管理費、植物管理費、設備保守点検費、修繕工事費、講習会・展示会費、イベント・催事費、発券・改札費など	523,350
事務費	消耗品費、備品購入費、広報宣伝費、入園券印刷費、一般管理費、租税公課費など	202,150
支出合計		1,335,000

●経費節減について

- ・植物管理技術、ハナショウブやボタンの栽培ノウハウ、竹材造形物の加工技術を活かして直営作業による経費節減を行います。
- ・廃材の再利用、落葉を使用した自家製腐葉土により経費を節減します。
- ・園内施設の日常点検により、事故防止を図るとともに高額な修繕になることを未然に防ぎ経費節減につなげます。
- ・関連グループのスケールメリットを活かしつつ、一括発注、複数年契約により委託料の節減を図ります。